

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年3月30日

【評価実施概要】

事業所番号	4590100147		
法人名	株式会社クローバー		
事業所名	グループホームクローバー		
所在地	宮崎県宮崎市新別府町前浜1401-259 (電話) 0985-35-3825		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成22年2月17日	評価確定日	平成22年3月30日

【情報提供票より】 (平成22年1月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 19年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤8人, 非常勤0人, 常勤換算8人	

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	33,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有 (66,000円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有 () 円	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,050 円		

(4) 利用者の概要(平成22年1月25日現在)

利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	2	要介護2	1
要介護3	2	要介護4	3
要介護5	1	要支援2	0
年齢	平均 88.2歳	最低 82歳	最高 99歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	わたよう胃腸外科
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、市街地郊外の大型ショッピングセンターを中核とした病院、レストラン、喫茶店等が点在する一角に位置する。交通量の多い道路に面しているが、片方は川に面し周辺に由緒ある神社や市民の憩いの場である公園等もあり静かで落ち着ける場所である。法人は同敷地に有料老人ホームを有し、現在道路を挟んだ場所に新たにグループホームを建設中である。職員のほとんどが開設当初から勤務しており、法人の理念である「優しいまなざし、穏やかな言葉、にこやかな笑顔」で寄り添い利用者の穏やかな時間を支援している。管理者を始め経験豊富な職員が互いに切磋琢磨しながら、利用者本位のケアの実践に向けて取り組んでいる姿勢が印象的である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	①評価の意義の理解と活用②職員を育てる取組③食事を楽しむ支援④鍵を掛けないケアについては、職員で話し合いを持ち改善に取り組んでいる。⑤重度化や終末期に向けた方針の共有については、未だ改善されていない。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価表の作成は、管理者と職員が話し合いを持ち作成にあたった。評価の意義については勉強会で説明し共有に努めている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	行政や地域の協力を得て定期的開催し、活発な意見交換が行われている。地域包括支援センターより「認知症サポーター」の話をしてもらったり、会議後利用者と共にたこ焼きパーティーを催したりと工夫をしている。会議で委員から出された意見を実践し、地域の集まり等に積極的に参加するなど運営推進会議を契機とした地域との交流が深まっている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	苦情箱を設置したり、サービス担当者会議の際に管理者と担当職員が家族としっかり話し合う機会を設けているが、意見、苦情の表出には至っていない。家族会の組織が無く、ホームの行事等でも家族同志が集まる機会が無い。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、地域の公民館の行事に参加するなど、地域との連携に積極的に取り組んでいる。利用者と一緒に近所の喫茶店にお茶飲みに行ったり、隣接する民家から庭に咲くお花をもらったりとご近所さんとしての交流がある。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念「優しいまなざし、穏やかな言葉、にこやかな笑顔」を基本にグループホーム独自に、利用者や家族にも理解しやすい言葉で「ゆっくり、いっしょに、楽しみながら」を理念としてつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日のミーティング時に唱和して意識づけしている。勉強会の際にも必ず理念の実践について話し合い、日々のケアに取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域の公民館行事（いきいき体操等）にも参加し、積極的に地元と交流の機会を持っている。近所の喫茶店にお茶飲みに出かけたり、お隣さんから庭に咲く花をもらったりとご近所さんとしての交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義や目的は全職員で共有し理解できている。評価後については職員会議で報告、話し合い、改善に向け取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催して活発な意見交換が行われている。地域包括支援センターから「認知症サポーター」の話をしてもらったり、会議後に利用者と一緒にたこ焼きパーティーを催すなどの工夫をしている。会議で出された意見等を積極的に取り入れ、地域への発信等の良い機会になっている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	新しい事業の開始や監査等を通して市担当者との連携が出来ており、種々の相談にのってもらえる関係がある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月園だよりを発行し、3か月ごとに各々の家族あてに利用者の笑顔の写真と管理者、担当職員のコメントを付した便りを出している。また、家族の訪問時にこまめに声かけして、暮らしぶり等を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置し、サービス担当者会議の際に管理者と担当職員と家族が意見交換する場を設けているが、意見表出には至っていない。	○	ホームの行事等を工夫して家族が集まる機会を設け、家族同士の集まりの中で意見を表出させる仕組みを作りあげる取り組み、また、職員が表出された意見や苦情を受け止める感性を磨く取り組みを望みたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設後はほとんど異動がない。新しい職員が入った時は、夜勤勤務等は2か月経って慣れてきてからにするなど、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修に順番で全ての職員が参加できる体制を作っている。内部研修も月1回行っており、外部研修受講後は勉強会で報告し、その内容を全職員で共有している。また、報告書も作成している。資格取得を目指す職員が多く支援体制もある。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の研修会や勉強会に積極的に参加している。また、他のグループホームへの見学や研修も検討中である。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に自宅を訪問してなじみの関係をつくっている。また、見学や体験入居の受け入れ体制がある。入居後は家族に来訪を頻繁にしてもらったり、外泊をお願いしたりと家族の協力を得ながら徐々になじめるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者と共に過ごし、支え合う関係を大事にしており、傍らに寄り添い一緒に過ごし喜怒哀楽を共にする関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	生活歴や日々のかかわりの中で思いや意向の把握に努めている。利用者一人ひとりの意向や思いを大事にし、それぞれの身体状態等にも合わせ個々のケアに取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人からは日々のケアのなかで担当職員が確認し、家族、管理者、担当職員との話し合いの場を設け、本人や家族の希望が反映出来る介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に計画の見直しが行われている。モニタリングを月1回行い、状況に応じ関係者で話し合いの機会を持ち、介護計画の見直しを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状況に応じ、通院や墓参り、買い物等、必要な支援を柔軟に対応している。また、各々のなじみの場所へのドライブも支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。協力医が定期的な往診や緊急時の往診をしており、適切な医療を受けられる体制がある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に医療行為が無い場合についてのみ、看取りが出来ることを本人や家族に伝えているが、具体的な対応について医療機関や職員等関係者での話し合いは行われていない。	○	重度化や終末期のあり方について、職員や医療機関の関係者で話し合いを持ち「できること、できないこと」を見極め、具体的な対応について方針を定め皆で共有してほしい。また、その方針をできるだけ早い機会に、本人や家族に伝え共有する取り組みを望みたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	目立たずさりげない言葉かけや対応がされている。記録等の個人情報の取り扱いも適切である。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおまかに日課はあるが、一人ひとりの状況に合わせて、その日、その時の本人の希望に沿った過ごし方が出来るように支援している。利用者は散歩、買い物等、できること、したいことをして穏やかな日々をおくっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	外注による食事提供をしているが、利用者も職員と一緒に盛りつけ、配膳、片づけ、台ふきを行っている。献立については話し合いを持ち希望を取り入れている。同じ物を注文した職員も、また、弁当持参の職員も一緒にテーブルを囲み介助しながら食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	車いす利用者も多く、介助が必要なことから週2回、午前中の時間帯に入浴を行っている。	○	入浴の回数や時間帯は本人のこれまでの生活習慣や希望に合わせることが望ましい。職員の勤務体制等を工夫し、個別に合った入浴支援の方法を検討してほしい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎朝体操を行っている。利用者の希望に合わせてカラオケやちぎり絵、おやつ作り等を行っている。また、気晴らしになじみの場所へドライブに行くなどの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くの神社を散歩したり、ショッピングセンターへ買い物に出かけたりしている。季節に応じて温泉や花見など、定期的な外出も支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵を掛けることの弊害は理解しているが、ホームが車量の多い道路に面しており玄関は施錠されている。利用者が閉塞感を感じないよう窓やドアは開放する等の配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回避難訓練を実施しており、地域の消防団や民生委員等の協力体制も得られている。勉強会等で定期的に災害時の具体的な対応について話し合いをしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が作成している。食事量や水分摂取量はチェック表があり適切な支援がされている。一人ひとりの状態に合わせて、粥食、刻み食、ミキサー食等が提供されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は天井が高く広々としており、日当たりがよく、見晴らしもよい。4、5人掛けのテーブルが3つと、いすが置かれている。壁際には、ゆったり掛けられるソファやいすがあり、利用者や訪れた家族がゆったりと過ごせるスペースになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者がいすや小さなたんす、テレビ、鏡台等を持ち込み、居心地よく過ごせる居室になっている。		

※  は、重点項目。